

杉戸町立杉戸中学校 令和5年度 学校評価(学校自己評価・学校関係者評価)

評価項目	目標	具体的取組	指標 (指標ごとの評価)	自己評価		学校関係者評価
				評価	達成状況(成果・課題) 改善策	
確かな学力	基礎基本を定着させる。	・「授業の約束10か条」の徹底により、授業規律の確立と定着。 ・朝読書の完全実施 ・小テストや単元テストの実施により、基礎基本の定着と家庭学習の定着を図る。 ・個に応じた補習学習の実施	・生徒アンケート「授業の約束10か条」AB評価9割(ABCD4段階評価) ・朝読書の実施100% ・CBTによる小単元テストの導入(理科) ・定期テスト前に各学年で実施	B	・朝読書については、質の向上を徹底していく。 ・定期テスト前の放課後の補習や朝勉強など、生徒の学力向上につとめた。ICTをさらに活用し、個別最適な学びを実現させながら、一層の学力向上につなげていく。 ・授業の振り返りについては、十分な時間の確保と自身の学びの蓄積を実感できる形を整えるよう研修を深めていく。 ・ICTの活用が増加したが、町内全体と比較すると本校は活用度が低い。また、「効果的な」活用という点となると、66.7%の教員に留まる。保護者は昨年度より大幅に高い結果(74.8%)となったが、引き続き、より効果的な活用法、活用場面を追究していく必要がある。	B
	学習指導法を改善する。	・杉戸町授業スタンダードを基にした効果的な授業の実践。 (※明確な課題設定と振り返りを重点とする) ・県学力学習状況調査の結果の分析から指導力向上に向けた教科会の実施 ・リーディングスキルを高める取組。	・明確な本時の課題設定と振り返り実施100% ・教科毎に県学調の結果を分析し、課題、改善策を検討し実行する。総合学力調査で成果をみる。 ・リーディングスキルを意識した学習課題の提示(全教科)。	A		
豊かな心	基本的生活習慣を定着させる。	・めざす生徒像「時を守り、場を清め、礼を正す生徒」「当たり前のことをやり抜く生徒」の育成に向けた学年・学級指導 ・「生活の約束10か条」による生活習慣の確立・定着	・学年、学級指導の状況 - 主任会、生徒指導部会を通じた情報交換、指導体制の統一 ・生徒アンケート「生活の約束10か条」AB評価9割(ABCD4段階評価)	B	・各部会を通じて杉戸中が抱えている課題を確認し、足並みを揃えることができた。生徒指導と教育相談については隔週の実施のため情報交換が遅れることもあり、課題である。 ・いじめアンケートは毎月実施し、早期発見・早期対応ができた。 ・長欠生徒47名(うち不登校40名)。数字だけを見ると昨年度から微増である。相談室や適応指導教室に通えるようになる等明るい兆しも見られた。 ・学校独自の「スマイル賞」、生徒会による「ありがとうの実」、人権集会の実施など年間を通じた善行賞を実施することができた。また、道徳については昨年同様学年職員で全クラスを受け持ち、行事前は担任による共通題材での授業で充実させることができた。また、学級通信において道徳の話題を積極的扱い、各家庭に道徳授業の様子を発信することができた。	B
	生徒の人権尊重意識を高める。	・心の居場所がある学年学級経営 ・ローテーション方式による道徳授業の展開と生徒の道徳性の態度把握により道徳の実践力を高める。 ・学校、学年での不登校生徒への対応、連携。 ・支援籍学習の実施。	・いじめのない学校生活を送るためのアンケートの毎月実施→いじめ認知率の増加 ・不登校生徒の減少→R5目標人数 25人(R3 30人 / R4 29人) ・道徳教育の充実 ・スマイル賞の授与者増加 ・生徒会による人権を考える活動を企画、実施 ・共生社会に向けた意識	B		
健やかな体	安心・安全な学習環境をつくる。	・登下校時の交通ルール遵守 ・自他の命を大切に安全指導の充実 ・PTAによる安全指導	・登下校時の交通事故ゼロ ・安全教室の実施(特に自転車通学者) ・教職員による立哨指導(重点箇所) ・安全マップの効果的活用	B	・登下校時の交通事故0件(12月末現在) - 安全指導の実施とPTAのアンケートの中で記入いただいた危険箇所を共有し、各学級で指導をおこなった。 ・毎朝の学年職員による立哨指導を通年で実施した。 ・う歯治療率96%(12月末現在)3学期も継続して指導する。 ・部活動は町、及び学校の基本方針に則り、全ての部活で徹底することができた。 ・感染症予防は、引き続き教員の意識を高い危機レベルで対応する必要がある。 ・新体力テストでは8種目中、県平均を超える種目が1年生では男女でそれぞれ4種目と2種目に対して、3年では男女ともに5種目と増加傾向にある。	B
	健康意識と体力を向上させる。	・歯磨き指導や治療動告等による歯治療の推奨 ・基本的な生活習慣の習得指導(就寝起床時刻、朝食の摂取等) ・体力向上及び健康教育 ・休養を確保した部活動の実施	・う歯治療率90% ・生徒アンケート ・体育や部活動における基礎体力の向上 ・部活動の町の基本方針に則った活動状況	A		
学校独自	家庭・地域、関係機関との連携を推進する。	・学校だより、学年だより、学級だよりの発行、HPの定期更新による情報発信 ・地域の人材を活用した教育活動の実施 ・PTA活動の活動内容の精選 ・不登校対応、健全育成における関係機関との連携	・各種の発行状況とHPの毎日更新(管理職による添削、保護者へのアンケートの情報発信で3.6以上) ・キャリア教育における地域人材の活用 ・持続可能なPTA新組織体制確立 ・関係機関の利用状況と生徒の変容	A	・各種便りの発行と毎日のHP更新は、保護者の88.2%(昨年度は82%)が便りやメール配信で学校の様子を知ることができたと回答していることから、効果があつたと思われる。 ・キャリア教育では2年生の職場体験学習が復活し、充実した取組となった。 ・PTA活動は組織の見直しについて好意的な声を多数頂戴し、概ね順調と捉えた。また、除草作業において地域の方にも協力を得られ環境美化に繋がった。 ・HP更新については、多くの方から高い評価をいただいた。引き続き内容の充実にも努める。各種便りについては、働き方改革からデータでの閲覧の向きもあるが、学校だよりについては引き続き紙ベースでの配布にこだわっていく。 ・職場体験学習の時期を再度検討し、事前・事後の学習も含めて一層充実させていく。 ・PTA活動については改革後の体制が整ってきたので、引き続きより良い活動を検討・推進していく。	A